

# 白斑や脱色素の悩みに朗報!

## どんな部位でも

## 手軽にカバーできる「ダドレス」が人気



### 美容と健康

皮膚の色素の一部が何らかの理由で脱色してしまう「白斑」。原因も特定できず、確固たる治療法もない状況の中、人知れず悩んでいる方も多いという。そんな方におすすめるのが、塗布するだけで、どんな部位でも手軽にカバーできる肌色着色料「ダドレス」。インターネットなどを通じて人気が高まる「ダドレス」とは、一体どんなものなのか。

意外に多い男性の白斑  
本人の悩みは深刻

白斑とは、後天的に皮膚の色素の一部が脱色する病気のことで、他の皮膚の色と比べると、白く色が抜けたような状態になっているものを指す。これは自己免疫疾患の一種とも考えられており、白斑の場合、皮膚の色素であるメラニン色素を形成する細胞を自ら攻撃してしまうために起こると言われている。発症のきっかけは、怪我ややけどなど、皮膚に何らかの刺激が加わることによるとされているが、原因は特定できていない。この病気は伝染することはない。症状も患部の痛みや痒みといった直接的な不快感はない。しかし、白斑のできる部位によつては、見た目が気になる場合も多く、人知れず悩んでいる人も多いようだ。

現在、これといった治療法も確立されておらず、白斑で悩む人の多くは、目立つ部位をカバーすることが先決問題となっている。なお、この症状は、年代に関係なく、子供から大人に至るまで、あらゆる年齢の発症が見られ、男女の比率もだいたい半々だという。

従来、白斑のカバーには、ファンデーションが使われていた。しかし、このカバーファンデーションよりは色落ちしにくく出来ているとは言え、やはり摩擦や水濡れなどで色落ちしてしまうこともある。まして白斑の部位が首や手などの場合、衣服にファンデーションがついてしまったり、手を洗ったら落ちてしまったりしやすい。

**塗布するだけでカバー  
4〜6日間色落ちせず**

ところが、二〇〇一年に登場したグラフィアラポラトリーズ（前オリリー化粧品）の肌色着色料「ダドレス」（11ミリ二千八百円）なら、専用のチップで、白斑の部位に塗布するだけで、四〜六日間色落ちせずに正常な皮膚に近い色に着色できる。配合成分は、水、エタノール、ジヒドロキシシアセトン、ヒドロキシエチルセルロース、EDETA、4Na、クエン酸Naなど。赤ちゃんのような敏感な肌にも使用できるので、目や口のまわりなどの粘膜を除いては、基本的にどの部位にも使用することができる。

「ダドレス」の存在を知らず



有限会社 ひらが  
仙台市青葉区中央2丁目1-15  
TEL 022-222-0158  
FAX 022-222-0357  
<http://www.hiraga.ne.jp/>

に、悩みを抱えていらつしやる方がまだまだたくさんいらっしゃるんです。一人でも多くの方に知っていただきたいです」と、仙台市内でダドレスを取り扱う有限会社ひらが（仙台市青葉区）の平賀ノブ代表取締役は語る。同店では、インターネットでも注文を受け付けており、毎月メールだけで平均二十名ほどから注文が来ているという。もちろん、店舗でも販売しており、口コミで買い求めに来るサラリーマンも多いそうだ。

白斑で悩んでいる方は、ぜひ一度足を運んでみてはどうだろう。